

2015/16 シーズン活動報告書

梅池スキー学校

昨年より本格的な受け入れをして頂いている梅池スキー学校での指導は、リピート率が100%と、受講生のサポートや指導スキル、サービスをご評価頂いている結果になっているかと考えています。受講生のなかには、障害により変形した足でも快適に使用する事ができるようにチューンナップしたブーツを購入し、レッスンに臨まれた方もいらっしゃいます。担当するインストラクターも、自信を持って指導にあたっています。今季は本当に雪が少ないシーズンになりましたが、受講生からはすでに来季のスケジュールについて問い合わせを頂いている状態です。

Hakuba47 Ski Academy

今季の受講生はゼロでしたが、提携スキー学校として門戸を開き続けて頂いています。受講生からの問い合わせがある中で、Hakuba47の斜面設定で受講するより、近隣の梅池スキー場の緩斜面で受講の方が充実したレッスンになると判断する事が多い状態です。現在受講されている方々のスキーレベルが上がり、中級～上級斜面で滑る事ができるようになれば、様々なスキー場を楽しんでいただく際に活用できると考えています。

フジスポーツサービススキースクール

2016年1月7日、長野県志賀高原高天原スキー場を拠点とする、フジスポーツサービススキースクール(代表：藤井敦)インストラクター8名を対象に、障害者スキー体験会を行いました。いくつかの障害について、どのような障害・身体特性であるかを説明し、できるだけ身体イメージを膨らませながら、それぞれに適した器具を使用して行いました。脳性麻痺を仮定した立位でスキーブラ・アウトリガーを使用したスタイル。片脚切断を想定しアウトリガーと片脚スキーで滑るスタイル。車椅子使用者を想定し座って滑るバイスキーで滑るスタイルを体験して頂きました。

どのような障害があっても、それに応じた器具や指導法があれば、スキーを楽しむことができる、しかも、いつも指導しているホームゲレンデで、そのような機会を提供する事ができるという事をご理解頂けたと感じています。インストラクターの皆さんが感じた喜びや快感を、今度はこれまで伝える事ができなかった多くの方々に伝える側になれるように、受け入れ準備段階に入って頂く事を期待しております。

大宮西ロータリークラブ

2015年11月19日、埼玉県さいたま市パレスホテル大宮において、大宮西ロータリークラブ第2450例会が行われました。当日は卓話のお時間を頂戴し、活動の紹介やご支援のお願いをさせて頂きました。当日は約90名の参加者に当協会の活動をご理解いただきました。

西町インターナショナルスクール

2015年10月、西町インターナショナルスクール(東京都港区)において、Food Fairが開催されました。当協会はブースを出展し、パンフレットの配布や活動紹介、また募金活動も行いました。当日は天候も良く、ブースに応援に来ていただいた7年生の有志、以前障害者スキーの講義や体験会を受けた卒業生も多く足を運んでくれ、大変盛り上がりしました。

2015年12月、7年生を対象に障害者スキーについての講義を行いました。障害ってなんだ？どのような障害があるの？本当に障害があってもスキーができるの？という生徒達の質問に答え、講義を進めました。今回は、視覚障害や下肢切断、下肢の麻痺、知的障害のスキーを紹介しました。アイマスクを用いて視覚障害の疑似体験では、スキーをしているように音声を頼りにポールを回るようにスラロームを行いました。続いて実際の指導で使用するスピーカーを紹介した後、滑走シーンを動画で紹介しました。普段、視覚からの情報をいかに頼りにしているかを感じ、それを遮り歩く事の難しさや不安を感じたあとでの動画鑑賞は、多くの生徒に驚きと障害者スキーの可能性を感じてもらえたかと思います。

2016年2月、Ski Tripにおいて、障害者スキー体験会を行いました。実際に雪の上で専用の器具を使用し滑る機会を作ることで、障害があってもスキーはできる、という事を実際に体験してもらう事を狙いに行いました。アウトリガーを用いての両脚滑走、片脚滑走にも挑戦し、特別な道具を使う事で下肢に障害があっても立って滑る事を体験。バイスキーの低い視線での迫力や、手が雪に届く傾きで遠心力を感じ、どのような障害があってもスキーを楽しむ事ができる事を体験してもらう事ができました。

《2015/16 シーズンを終えて・・・》

2015/16 シーズンも怪我なく無事に終わりました。このシーズンは本当に雪が少なく、活動の拠点になる長野県白馬村や小谷村、体験会を行った志賀高原や新潟県湯沢町といった、日本有数のスキーエリアでさえ短いシーズンになりました。スキー場に雪がないというニュースも多く聞かれ、やはり受講生からの問い合わせも減少しました。中でも、今季受講された方は全員リピーターであり、提携スキー学校のインストラクターを始め、多くの方々に支えられ楽しく充実したレッスンになっている事と考えています。

協会設立4年、多くの方のお力をお借りし、多くの受講生にスキーというスポーツを楽しんで頂く環境を整えてきました。活動趣旨をご理解、ご支援いただいた賛助会員の皆様、協力企業のお力には本当にありがたく思っております。しかし、これまで普及活動に訪れた、長野県、福島県、富山県のスキー場・スキースクールでは、その後の進展を望めない状況になっています。普及に赴く経費や時間に制限がある中で、これまで同様の方法で発展させていく事に壁を感じているのが正直な思いです。

2016/17 シーズンの普及活動は、拇池スキー学校、Hakuba47 Ski Academyの活動に的を絞り、今後他スキー場で受け入れ要請があった際によりスムーズに事が運ぶよう準備をしていきたいと考えております。活動を止めるわけではなく、次に良いステップを踏む事ができるシーズンにしたいと思っております。今後とも、ご理解、ご支援をいただけます事を願っております。よろしくお願いたします。

2015/16 シーズン 受講生受入れ実績

	受講日		レッスン日	障害名	都府県
1	12月	29～30日	2	脳性麻痺	東京都
3	1月	9～10日	2	脳性麻痺	埼玉県
4		9～10日	2	視覚障害	東京都
5		23～24日	2	自閉症	東京都
6		25日	1	脳性麻痺	東京都
7	2月	11～12日	2	ダウン症	静岡県
8		22～26日	5	軟骨無形成症	東京都
9	3月	11～12日	2	脳性麻痺	埼玉県
合計			18日		

- ★ 合計9回・6名の受講生があり、全日レッスン18日の受入れをしました。
- ★ スタイル別:立位2名(リガー・ブラ等)。立位2名(知的)。立位1名(視覚)。座位1名。
- ★ リピート:今季の受講生は全員がリピーターです。
- ★ 地域別:関東16日(東京都12日・埼玉県4日)、中部2日(静岡県2日)。
- ★ キャンセル:合計7日:3名の方が体調不良によりキャンセルされました。

一般社団法人 障害者スキー振興協会

